

2022年 “風疹ゼロ”プロジェクト宣言！！

“風疹ゼロ”プロジェクト実行委員会

代表 木下 勝之（日本産婦人科医会会長）

作業部会代表 平原 史樹（日本産婦人科医会副会長）

作業部会副代表 多屋 馨子（国立感染症研究所感染症疫学
センター室長）

作業部会 奥田 美加（日本周産期・新生児医学会）
倉澤 健太郎（日本産婦人科医会）
谷垣 伸治（日本産科婦人科学会）
細矢 光亮（日本小児科学会）
峯 真人（日本小児科医会）



風疹ゼロプロジェクト イベント開催

←2018年 成田空港

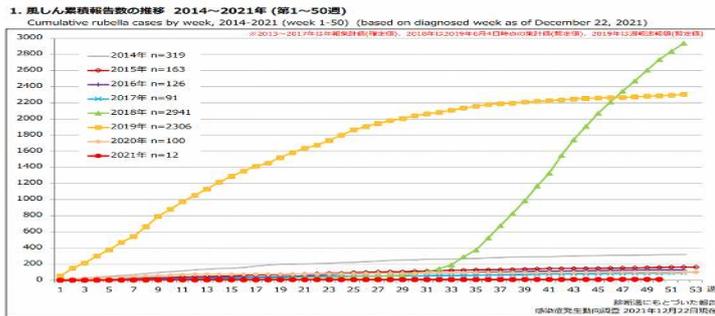
✓2019年 大手町

↓2020年 有楽町

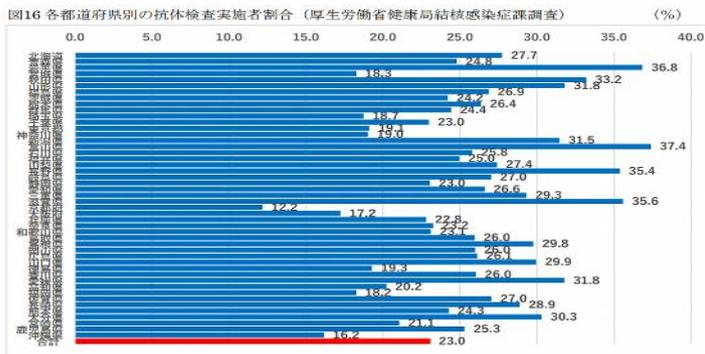
2021年 宣言配信

2022年 WEBイベント





●2021年も風疹の発生数は少なかったのですが先天性風疹症候群の児が生まれています



●第5期の成人男性の抗体検査実施率(都道府県別)全国平均は全対象者の25%にとどまっています

2022年2月4日“風疹の日” 宣言

—『“風疹ゼロ”プロジェクト』—新型コロナウイルス感染症が流行中ですが目標の25%の方しか風疹抗体検査が完了していません！

- 40~50代の男性ならびにその職場に強く訴えます！
- 風疹抗体検査・第5期風疹定期接種のクーポン券を受け取ったすべての方へ(昭和37年4月2日~昭和54年4月1日生まれの男性です)
 - まだ75%の方が検査を受けていません
 - 風疹をゼロにするために検査を受けてください
 - また職場等では検査・予防接種を受けられるよう特段の配慮をしてください
- 風疹抗体検査, 予防接種(MRワクチン)が特にこの世代に実施されるよう皆さんの行動を求め、周囲の協力を求めます
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行が大きな話題となっていますが、わが国では2019年から妊婦への風疹罹患のリスクをなくすための大切な対策が続いています(みなさまにクーポン券が届いています)

参考

- 1 厚生労働省：風しんの追加的対策について
https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella_m111/700_idsc/5544_rubellaposter2015.html
- 2 国立感染症研究所感染症疫学センター：成人男性も風しんの予防接種を受けましょう
https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella_m111/700_idsc/5544_rubellaposter2015.html

“風疹ゼロ”プロジェクト :

日本産婦人科医会では、先天性風疹症候群児の出生をゼロにして風疹の完全抑制を目標とした活動を進めております。そこで2016年夏より厚生労働省をはじめ、行政、各種団体等、皆様方のご理解、ご支援のもと、『“風疹ゼロ”プロジェクト』を立ち上げ実行してきました。

例年2月4日の『風疹（ゼロ）の日』を中心に、2月を“風疹ゼロ”月間と定め、多くの関係者の方々のご賛同のもと、イベントをはじめ、一斉に情報発信、啓発活動を進めて行ってまいりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行の続く中でもありますため、街頭イベントは中止として“風疹ゼロ”プロジェクトの啓発イベントWEB配信をします。宣言文の掲示等の啓発活動をあわせて実施いただきたくみなさまにお願い申し上げます。

2022年“風疹ゼロ”プロジェクト アピールイベントを実施します

- 2022年2月4日 19時-20時30分
- 東京の発信スタジオからイベント中継 全国へ配信
- “風疹ゼロ”プロジェクト実行委員会、厚生労働省、風疹をなくそうの会ほか
- 風疹のお話し（専門家を囲んで）、取り組み団体のスピーチ、イベントなど